

よこすか E C O 通信

第34号(令和元年9月)

発行:横須賀市、環境教育・環境学習ネットワーク会議

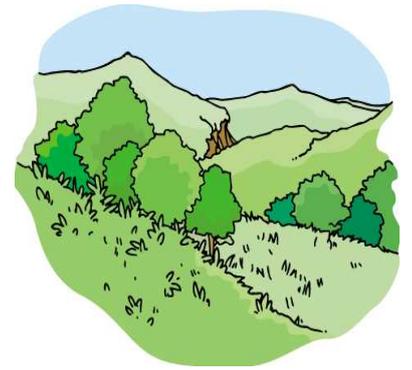
私たちの暮らしと身近な自然

自然の中での人々の暮らし

横須賀市を地図や航空写真で見ると、まだまだ「みどり」が残っているのがわかります。この「みどり」などの自然は、人々の暮らしとともにありました。

人々は土地を耕して農作物を育て食糧としたり、木から炭を作って燃料として使うなど、身近な自然の中から生活に必要なものを作り出してきました。そうして自然の中から手に入れたものは、やがて自然の中へかえしていたのです。

人々の暮らしはこうした自然の循環の中の一部になっていました。



今の私たちの暮らしは？



今の私たちの暮らしは、電気やガスを使い、食べ物はお店やレストランなどでいつでも手に入るようになり、昔のように、直接自然とかかわることがなくても生活ができるようになりました。

私たちの暮らしと自然とのかかわりは、以前とくらべて薄れているように思えますが・・・

暮らしに身近な自然

でも、実際はどうなのでしょう？

例えば、私たちが生きていくうえで必要な酸素（空気）は、木々などの植物が呼吸することで作られ、植物が育つために必要な土や水は、色々な生き物が大きくかかわっているのです。

色々な生き物がたくさんいることで、生き物どうしの繋がりができ、自然が豊かになり、土や水、植物を育てる良い環境を作り出すのです。

こうした自然は、私たちの暮らしが便利になった今でも私たちの身近にあり、その恵みを与え続けてくれています。私たちの暮らしを豊かにしてくれるこの自然は、かけがえのないものなのです。

普段の暮らしの中で、身近な自然との繋がりを考えてみませんか？

2面は秋の環境学習講座などのお知らせ、3面は『横須賀いいね★エコ活動賞』募集案内と受賞団体の紹介、4面は季節の自然図鑑（今回は「博物館の『身近な昆虫』図鑑」です）を掲載しています。



秋の環境学習講座などのお知らせ



横須賀市自然・人文博物館

○博物館教室「三浦半島の考古学」(全8回)

日時 10月9日～11月27日(毎水曜日)
10:00～12:00

場所 博物館本館・野外(2回)

定員 50人

参加費 50円(野外)

締切 9月25日(水)



○自然観察会「しだ・こけ・きのこのテラリウム」

日時 10月26日(土) 13:30～16:00

場所 馬堀自然教育園

定員 20人(小学生は保護者同伴)

参加費 200円

締切 10月12日(土)

馬堀自然教育園のシダ・コケ・キノコを観察し、名前の特徴を学びながら自宅に飾れるテラリウムを作ります。

☆事前申込制

申込方法 締切日までに往復はがきに下記の事項を記入して下記宛先へ

往信面 参加希望者全員(家族のみ)の住所・氏名・年齢・電話番号

返信宛名①参加者(代表者)の住所②氏名
返信面には何も記入しないでください。

宛先・問合せ先

横須賀市自然・人文博物館

〒238-0016 横須賀市深田台95番地

電話:046-824-3688

e-mail:m-bes@city.yokosuka.kanagawa.jp

横須賀エコツアー

横須賀の自然 歴史 文化遺産をエコツアーガイドがご案内

10月20日(日) ピーチコーミングと工作体験
～秋のビーチで思い出作り～
ソレイユの丘ほか

10月26日(土) 日本遺産WEEK企画
走水低砲台跡と猿島公園見学会
猿島公園ほか

10月27日(日) 万葉集の植物観察会
県立観音崎公園

11月10日(日) 観音崎砲台跡&走水低砲台跡をみよう
県立観音崎公園ほか

各ツアーの詳細は横須賀エコツアーホームページをご覧ください。

<https://yokosuka-ecotour.jp/index.html>



環境教育指導者に登録しませんか

市内の小学校や保育園などで、環境に関する講話や授業を行う「環境教育指導者」を募集しています。

対象 環境カウンセラー・環境学習リーダー・アィクルマイスターの資格を持つ市民の方、環境活動や環境の取組を行っている市民活動団体・市内企業

問合せ先

横須賀市環境政策部環境企画課総務係

〒238-8550

横須賀市小川町11番地

電話:046-822-8327

e-mail:ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp



三浦半島「自然ふれあい楽校」 オータムフェスタ2019

①木の実、草の実でリースづくり

めぐりの森で蔓やドングリ、いろいろな秋の実を拾って、自分だけのリースを作りましょう。

日時 11月2日(土) 10:20～14:20

定員 20人

参加費 未就学児 無料

小中学生 500円

大人 2,000円

②ドングリ植えよう ファミリー植樹と森あそび

緑豊かなめぐりの森を育てるために、一家族につき1本コナラやくヌギの苗を植えます。自然あそびも体験!

日時 11月3日(日) 10:20～14:30

定員 20家族

参加費 1家族 2,000円

③前田川の支流、「尾形瀬川」源流トレッキング

前田川の下流から川の中を歩いて源流を目指します。最上流には、鍾乳洞からの水による神秘的な光景が・・・。

日時 11月4日(月・祝) 9:30～14:30

定員 20人

参加費 小中学生 500円

大人 2,000円

※場所は、①②湘南国際村めぐりの森 ③前田川

申込期間 定員になり次第締切

申込方法 下記ホームページ「シテコベ」まで

<https://www.shitekobe.com>

申込・問合せ先

三浦半島「自然ふれあい楽校」

e-mail:miurafureai@gmail.com

横須賀市地球温暖化対策地域協議会

夏季よこすか節電チャレンジ

宛先・問合せ先

横須賀市地球温暖化対策地域協議会事務局
(横須賀市環境政策部環境企画課内)

〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話:046-822-8524

e-mail:stop-ondanka@city.yokosuka.kanagawa.jp

この夏にご家庭で節電に取り組み、電気使用量が前年同月を超えなかった方に抽選で20名様にLED電球をプレゼントします!

対象月 請求月が7月、8月、9月(使用期間ではありません)

対象者 市内在住で、ご家庭の電気使用量が前年同月を超えなかった人

応募口数 1か月分(1口)から応募できます。1世帯につき3か月分(3口)まで

詳細は下記ホームページを参照ください。

<http://ecoyoko.com/event/post-19.html>

令和元年度「横須賀いいね★エコ活動賞」募集中!

今年度も「いいね★」といえる環境活動を行っている団体や学校を募集しています。

学校短期活動の部

原則として1年以内に市内で環境活動を行った、または行っている小・中・高等学校、幼稚園、保育園など

一般の部

市内で環境活動を行う市民団体、事業者など（過去に表彰を受けた同一の活動は対象外です）

応募方法

所定の応募用紙により、郵送、FAX、e-mail か直接、横須賀市環境政策部環境企画課へご提出ください。

応募期間

9月17日（火）～10月18日（金）必着

問合せ先 横須賀市環境政策部環境企画課環境計画係 〒238-8550 横須賀市小川町11番地

電話：046-822-9661 FAX：046-821-1523

e-mail：ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

「横須賀いいね★エコ活動賞」受賞団体の活動内容

「横須賀いいね★エコ活動賞」は、環境意識の向上、環境活動の活性化のため、市内の市民団体や学校等における「いいね★」といえる環境活動を表彰する制度です。

平成30年度は【学校短期活動の部】から2校、過去に「横須賀ECO大賞」

（旧表彰制度）を受賞してから4年以上経過し現在も継続中の活動が対象

の【功労賞】から「大津中学校やまもも」を含め8団体が受賞しました。

本号では、【功労賞】受賞の4団体の活動内容をご紹介します。

※内容は平成30年度受賞時



三浦半島昆虫研究会

1977年に創立した当会は、三浦半島の昆虫相解明をめざして活動を続けて来、この間、チョウ、トンボ、コガネムシなどの半島内分布を明らかにしてきた。



しかしながら、42年を経ても当初の目標にはほど遠く、これからも地道な調査を続けて行きたい。

三浦半島自然保護の会

自然観察会と会報の発行による「自然保護」および「自然観察」の普及啓蒙。

自然観察会は毎月1回、三浦半島内で行っています。

会報「自然のたより（月刊）」の内容は自然観察会のおしらせ、大人向きの論説、自然のニュース、観察会の報告などです。



津久井の自然を守る会

私たちは1999年7月に発足。

武山ハイキングコースの不法投棄撤去と防止、湿地に生息する樹木や生物のために田を復活させホテル自生地の保全・再生の活動をしています。



この活動は、津久井小学校児童による不法投棄防止の植樹、看板作成。田植え・稲刈り体験、自然観察など総合的学習体験の場にもなっています。

大津中学校特別支援学級(やまもも)

大津中学校のやまもも学級です。普段の授業の自立の時間でエコグッズを作っています。靴下屋さんから廃棄される靴下の一部（はぎれわか）をいただき、エコたわしを作って修学旅行や職場体験でお世話になった人にプレゼントとして贈っています。家庭の空きビンと保冷剤を集めて色や香りをつけて芳香剤を作ったりもしました。段ボールを再利用して表面に絵をかき、アート作品として展示をしました。これらの作品を毎年校内で行っている販売学習で販売し、たくさんの地域の方や保護者、教職員が買いに来てくれています。



私たちが暮らす横須賀や三浦半島には、人の営みとともに育まれてきた里山をはじめ、様々な自然環境があります。温暖な気候と多様な環境のもと、三浦半島で記録された昆虫はこれまでに4,000種をこえます。

とても多様な昆虫を調べる手がかりとして、博物館では昨年、三浦半島で身近に見られる昆虫の図鑑をつくりました。これは2014年から博物館で行っている調査研究の成果の一つで、昆虫を学ぶ人たちのために、①身近に観察可能な種を、②様々な昆虫のグループの代表として、100種もしくは約500種選んで教材として活用する、というものです。昆虫に詳しい人もそうでない人も、共通に知っている昆虫が増えることで、同じ地域で昆虫を学びあったり調べたりできることを目指しています。



『身近な昆虫365』での昆虫の写真と解説の例

図鑑『身近な昆虫365』には365種の昆虫に番号をふりましたが、関連する種など三浦半島の様々な昆虫471種の昆虫を載せました。この図鑑の特徴を2つ紹介します。

一つめは、昆虫の写真すべてを学芸員が2007年以降に屋外で撮影した画像から選んだことです。いずれも手を伸ばして届くくらいの距離の虫を撮ったものなので、図鑑を手にとった人が虫を観察する時の姿に近く、図鑑と実際の昆虫を比べやすくしています。

二つめは、虫の名や簡単な解説ともに何の仲間なのかを入れることで、図鑑に載っている写真を手がかりに詳しく調べるきっかけになるようにしていることです。三浦半島で記録された昆虫の種数に比べれば、図鑑にはほんの一部しか載っていません。しかし、図鑑に載っている似た虫の名や分類がスタートとなって、より専門的な図鑑やインターネットで調べられるようにしました。

博物館や学校や家などで、様々な人たちと共通の「身近な昆虫」の名前を知っていると、様々な環境やうつり変わる季節のなかで顔ぶれが変わる昆虫たちについて会話ができ、身近な自然をもっと理解できるのではと期待します。

図鑑『身近な昆虫365』(A5版, 98ページ. お求めは博物館へ)

(横須賀市自然・人文博物館 内船俊樹)



みなさまからのECOな情報を募集しています。

発行: 横須賀市・環境教育・環境学習ネットワーク会議 協力: 横須賀市自然・人文博物館
 (発行元) 〒238-8550 横須賀市小川町11番地 横須賀市環境政策部環境企画課
 TEL: 046-822-8327 FAX: 046-821-1523
 e-mail: ep-ep@city.yokosuka.kanagawa.jp

「環境教育・環境学習ネットワーク会議」は、市民・事業者・学校・行政等のさまざまな主体が集まり、連携して市内全体の環境教育・環境学習の推進を図るための会議です。

